

中速グリーンモード 自転車の空間整備

土木学会土木計画学ワンディセミナー

主催 土木学会計画学研究委員会
自転車空間研究小委員会
徳島大学中速グリーンモード研究会
後援 国土交通省国土技術政策総合研究所

自転車等の中速グリーンモードに配慮した 道路空間構成技術に関する研究

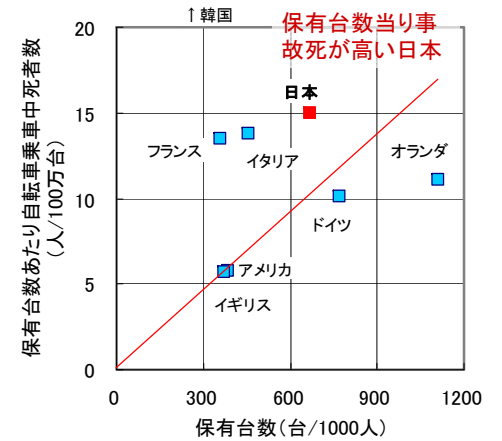
代表者: 徳島大学大学院教授 山中英生

●自転車等の中速グリーンモードの 日本の特徴

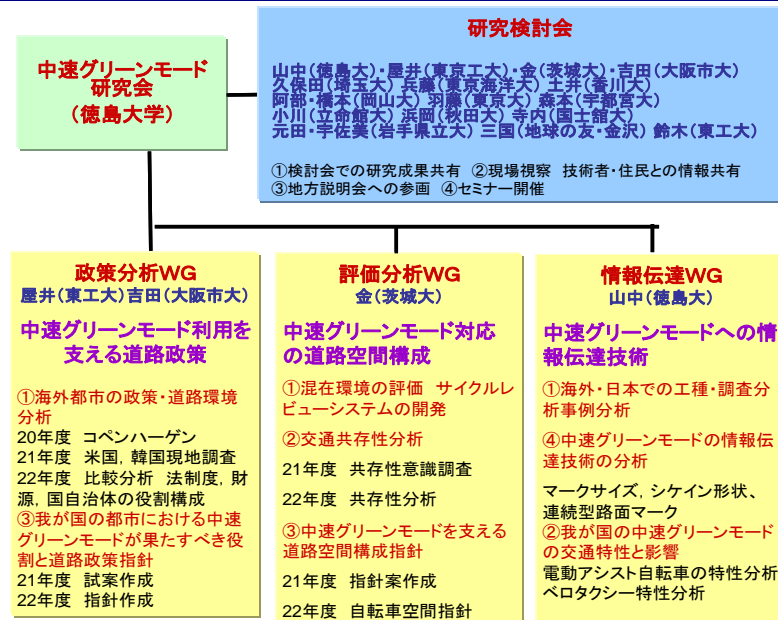
- 世界的に高い利用率(トリップシェア)先進国の中でシェアを失わなかった国の一つ
- 短いトリップ長、遅い速度
→ 中速性の不足
利用(高齢・女性)、走行空間(自歩道)
- 高い事故率
→ 安心だが安全でない乗り物
高齢者・高校生

●研究目的

自転車を<中速の交通モード>として見直し、道路政策・道路構造基準等の空間システムの指針にむけて実用的知見を整理する。
→ 日本版 自転車道デザインマニュアルへ



研究体制



研究の意図

我が国の自転車交通利用環境
・中速利用が難しい 自歩道=徐行が基本

歩道対車道の論争
・車道原則 VS 実態+感覚的議論
・道路管理, 交通管理の協働体制の問題

モデル事業の繰り返し
・持続性、戦略性ある政策・整備の課題



技術的知見+政策の体系化が必要

自転車を<中速の交通モード>として見直す。
新しい自転車類のモードの兆しを見据え=中長期視点へ

道路政策・道路構造はいかにあるべきか？